

そのボタン
おしてあげよう
その勇氣

一福祉標語入選作品から一

笠間市社協
宍戸支部だより

第112号

平成27年6月10日発行

発行 笠間市社協宍戸支部長 伊東 勝男
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

施策

- 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 区長会、民生委員児童委員協議会、まちづくり宍戸塾及び防犯連絡協議会との連携を強化する。
- 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 資質向上に資する「研修会、視察研修」等を実施する。
- 児童福祉事業の充実を図る。
 - (1) 小学校との連携を密にした「三世代交流事業」への協力
 - (2) 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
 - (3) 学童育成に対する援助活動
 - (4) 地域の教育環境整備及び登下校見守り活動に協力
- 北山公園桜まつりに参加協力する。
- 友部公民館「出前講座」に参加協力する。
- 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 各専門委員会の事業
 - 【1】青少年健全育成委員会の充実を図る。
 - (1) 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
 - (2) 「ものづくり・食事づくりわくわく体験」実施
 - (3) 通学路沿いの清掃・美化活動に取り組む。
 - 【2】女性部事業の充実を図る。
 - (1) 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
 - (2) 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
 - (3) 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
 - (4) 福祉施設でのボランティア活動の実施
 - (5) 資質向上に資する「研修会、視察研修」の実施
 - 【3】こぶしの会を充実し福祉事業をさらに推し進める。
 - (1) 「配食サービス」時、高齢者との交流活動の実施
 - (2) 高齢者によるグラウンドゴルフ等各種行事に対する援助活動の実施
 - (3) 「ししどサロン」を開催し、より充実した高齢者福祉を推進
 - (4) 高齢者を対象とした市外研修会の企画・運営
 - 【4】広報委員会の充実を図る。
 - (1) 「宍戸支部だより」第112号～114号の発行
 - (2) 「研修会・視察研修」への積極的参加
 - (3) 広報関係諸団体との交流促進

新支部役員

支部長 伊東 勝男 中町
副支部長 羽生 力 松山南団地
同 山本 弘子 大田町2
同 和田 博美 松山団地2
同 森田 和美 旧陣屋2区
会計 関 令子 橋爪2区
同 佐藤 澄子 星山
監事 瀬谷 雅彦 松山団地3
同 桑島 健 南小泉2
同 山本 信子 旧陣屋3区
顧問 寺内 寛 大田町1
同 高野 光徳 大田町2
同 桑野 郭延 八反山
同 幾浦 忠男 旧陣屋2区
同 根本 芳雄 大田町2

支部委員と各種専門委員は
2面に掲載



▲4月25日代議員会

方針

笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を持っています。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めてまいり

ました。今後さらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様の協力を得ながら、地域に密着した事業を推進してまいります。

平成27年度

子どもや高齢者にやさしいまちづくりを地域みんながつながって

役員改選の年となる代議員会が四月二十五日に行われ、社協関係者ら七十二人が出席する中、新支部役員等が決まった。

超高齢化時代を目前にして、多様化する高齢者をとりまく事件・事故の多発が気になる

昨日、支部社協の福祉活動等には、大きな期待がかかる。

宍戸地区の皆様の支部社協へのご理解とご協力を頂きながら、子どもや高齢者にやさしいまちづくりが目指される。

平成26年度 決算報告 自H26.4.1～H27.3.31

収入の部 (単位: 円)				
項目	予算額	決算額	増△減	付記
繰越金	165,113	165,113	0	前年度繰越金
還元金	930,000	890,750	△39,250	会員会費還元金 (会員会費助成額)
助成金	172,000	169,075	△2,925	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 89,075 宍戸小PTA助成金 30,000
助成金	0	494,000	494,000	エアコン助成金 (市社協、まちづくり宍戸塾)
寄付金	10,000	10,000	0	旧陣屋レクリエーションクラブ (そば会)
雑収入	500,000	453,817	△46,183	福祉バザー益金 配食個人負担金 利子 他
合計	1,777,113	2,182,755	405,642	

支出の部 (単位: 円)				
項目	予算額	決算額	増△減	付記
会議費	15,000	15,130	130	代議員会 両委員会合同打ち合わせ会 他
事務通信費	10,000	6,354	△3,646	封筒 コピー用紙 ポールペン 他
事業費	1,500,000	1,333,261	△166,739	青少年育成費 (地区懇談会等) 86,351 女性部活動費 93,650 こぶしの会活動費 60,000 広報紙発行費 (支部だより3回分) 164,600 児童育成費 (笠子連宍戸支部活動) 50,000 視察研修費 (3回実施分) 45,000 体育費 (三世代交流事業) 75,000 研修会参加補助費 2,500 在宅福祉費 (配食12回分) 297,551 高齢者補助費 (高齢者クラブ) 50,000 区長会活動助成費 50,000 高齢者助成費 (グラウンドゴルフ他) 127,979 需用費 (電話・ガス・保険料他) 223,160 備品購入費 (ケトル代、拡声器代) 7,470
雑費	30,000	32,400	2,400	会館内コピー機インクカートリッジ代
連絡調整費	10,000	10,560	560	各事業実施へ向けての連絡経費
予備費	212,113	703,500	491,387	会館内のエアコン代
合計	1,777,113	2,101,205	324,092	

収入合計2,182,755円-支出合計2,101,205円=残金81,550円 次年度へ繰り越し

平成27年度 予算書 自H27.4.1～H28.3.31

収入の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算	前年度予算	増△減	付記
繰越金	81,550	165,113	△83,563	前年度繰越金
還元金	900,000	930,000	△30,000	会員会費還元金 (会員会費助成額)
助成金	165,000	172,000	△7,000	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 90,000 宍戸小PTA助成金 25,000
寄付金	10,000	10,000	0	地域からの寄付金 他
雑収入	450,000	500,000	△50,000	福祉バザー益金 配食個人負担金 利子 他
合計	1,606,550	1,777,113	△170,563	

※雑収入 (女性部手づくり益金 桜まつりバザー益金などを含む)

支出の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算	前年度予算	増△減	付記
会議費	15,000	15,000	0	代議員会 両委員会合同打ち合わせ会 他
事務通信費	10,000	10,000	0	封筒 コピー用紙 ポールペン 他
事業費	1,530,000	1,500,000	30,000	青少年育成費 (地区懇談会等) 100,000 女性部活動費 100,000 こぶしの会活動費 70,000 広報紙発行費 (支部だより3回分) 170,000 児童育成費 (笠子連宍戸支部活動) 50,000 視察研修費 (3回実施分) 60,000 体育費 (三世代交流事業) 75,000 研修会参加補助費 5,000 在宅福祉費 (配食12回分) 350,000 高齢者補助費 (高齢者クラブ) 50,000 区長会活動助成費 50,000 高齢者助成費 (ししどサロン他) 150,000 需用費 (電話・ガス・保険料他) 290,000 備品購入費 10,000
雑費	30,000	30,000	0	会館内コピー機インクカートリッジ代 他
連絡調整費	10,000	10,000	0	各事業実施へ向けての連絡経費
予備費	11,550	212,113	△200,563	
合計	1,606,550	1,777,113	△170,563	

※体育費 (宍戸小「三世代ふれあいの集い」など)

※高齢者助成費 (グラウンドゴルフ大会 春・秋開催 ししどサロン経費を含む)

支部委員

支部委員 横手 千尋 上町
塩畑 敏之 中町
柳林 進 下町
阿部 忠孝 橋爪一区
武井喜美治 橋爪二区
大根 静雄 矢野下上郷
嶋田 新 大古山
鈴木 時 大古山
柳橋 義光 南小泉一
會澤 勝 南小泉二
中村 章一 南小泉三
海老澤勝男 下加賀田
村上 勉 旧陣屋一区
森田 和美 旧陣屋二区
福田 豊昭 旧陣屋三区
三浦 昇 小人町
樋口 隆史 八反山
上沼 隆 星山
谷田部敏男 大田町一
大川 貞夫 大田町二
国谷 昭 松山団地一
谷 貞夫 松山団地二
塚本 吉信 松山団地三
悉知 保男 松山南団地
石川 敏之 松山アパート
鈴木 和夫 八幡下
小松崎真澄 ひばりヶ丘団地
藤田 剛 大古山パークタウン

青少年健全育成委員会

委員長 雨谷 高市 旧陣屋二区
副委員長 森田 和美 旧陣屋二区
関 令子 橋爪二区

女性部

部長 和田 博美 松山団地二
副部長 小菅 栄子 中町
藤木喜代子 大田町二
出地八重子 大田町二
土屋 時枝 松山団地二
西村 安美 下町

こぶしの会

委員長 羽生 力 松山南団地
副委員長 宇津 功 大田町二
小坂井芳威 旧陣屋三区

広報委員会

委員長 山本 弘子 大田町二
副委員長 小川 福子 旧陣屋一区

民生委員児童委員協議会

民生・児童委員 上沼 隆 星山
桑島 裕子 橋爪一区
武田 富雄 南小泉二
石井 昌子 ひばりヶ丘団地
幾浦 正道 旧陣屋二区
青野 民男 旧陣屋三区
斉藤 隆 大田町一
村上 一郎 大田町二
原田 功 松山団地一
芥川 麗子 松山団地三
岩田 幸雄 八幡下

お知らせ

- 1 社協会員募集の頃となりました。誰もが幸せに暮らせるために、会費の納入にご協力をお願いします。
- 2 子どもから高齢者まで安心安全に暮らせるまちづくりを目指して「地区懇談会」を6月20日から開催します。地域や家庭で困っていることなどありましたらお聞かせ下さい。
- 3 5月23日に行われた福祉バザーで314,350円の収益がありました。ご協力ありがとうございました。

宝物を育てる



橋爪1区
北村眞由美

私は二児の母です。
「危険、危険」と言っている昔は当たり前前に遊んでいた遊具なども、親同伴でないといけない時代に変わってしまいました。そういった物と上手に付き合いつつ、時には怪我をし私たちの時代は育って来ました。譲り合う心や、危険な事をしてはいけないと思う心は、そういった中からはごくまれているように思います。

まちの声・むらの声

子どものうちに沢山の経験、例えば、スポーツや音楽、自然体験などをさせる事で、様々な角度で物を見る事ができる大人になると私は思っています。

しかし、実際はなかなか時間や経済的な面でさせてあげられなかったりします。そこで地域などのイベントとして、安価で企画して頂けると、親としても安心して参加させる事が出来、子どもの成長に大きくつながると思います。私の子どもも体を動かす事が大好きです。

自分の時代と比べ子どもが自由に遊べる空間が減っていると思います。子どもには将来いくつもの

たすねてみたら No.87

子どもには「生きる力」
高齢者には「楽しみ」を

新栄戸支部長
伊東勝男さん(中町)



「社協栄戸支部との関わりはー平成二十一年、年順に回ってくる区長となり支部委員になったことからでした。」
その後二年毎に、監事、副支部長(青少年健全育成委員長)となつて計六年間関わってきました。
「子どもたちに期待するものはー青少年健全育成委員会が主催する「ものづくり・食育づくり」や「わく体験」などから、スイッチを入れば生きていく便利な世の中が、子どもたちの工作や料理作り等で初步的なものでも戸惑いが多くなっていると感じています。」
「便利な生活を肯定しつつ震災などの大災害時の、停電断水等にも対応できる「生きる力」を備えて頂きたいと考えています。」
「これからはー子どもたちが元気で仲良く、高齢者が安心して楽しく暮らせるまち栄戸を目指して、微力ながら精一杯頑張ります。」
「会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。」

消防体験



松山団地3
岩田耀斗

ぼくは、生まれて初めて消防体験を行いました。栄戸地区のたぐ

表彰2人 栄戸支部から

三月七日第五回笠間市社会福祉大会が友部公民館で開催された。大会に於いて、栄戸支部からは、高野光徳さん(大田町二)と佐藤澄子さん(星山)が、多年にわたり支部の福祉活動に貢献されたことにより、笠間市社会福祉協議会長から表彰を受けた。

常総市社協 岡田支部と交流

三月十日常総市社協の岡田支部の皆さん二十人が笠間市社協を訪れた。
高い認識を持つて先進的に活動しているとのことで、栄戸支部が選ばれ、岡田支部との交流がなされた。

さんの消防団員のみなさんのご協力があつたからこそできたのだとぼくは思います。

ぼくは、逆にまいてあるホースをのばして二本つなげたりするホース延長などを体験しました。また、ホースを使って消火する放水体験も行いました。どの体験もワクワク、ドキドキで今後の生活に役立ちそうなものばかりでした。(小六)

編集委員

・山本弘子
・小川福子
・羽生 力
・塩畑敏之
・長山春江

よろしく
お願いします